

芹沢俊介* 琉球のシダ植物雑記 (一)

Shunsuke SERIZAWA* : Notes on the Pteridophyte Flora
of the Ryukyu Islands (1)

琉球列島のシダ植物のフロラは、屋久島以北のフロラに比べ、調査も不十分で、再検討を要する種類も少なくない。ここでは、その中から分布上注目すべき種類、分類上問題のある種類、新植物などを、いくつかづつ報告したい。ここで言う琉球とは、主として奄美大島から与那国島までの範囲であるが、必要に必じて屋久島、種子島、トカラ諸島も含める事にする。日頃から御指導いただいている伊藤洋先生には深く感謝いたします。

1. 奄美大島新産のシダ植物 2 種

(1) セイタカイワヒメワラビ 屋久島ではそれほど少ない種類ではなく、奄美大島でもむしろ今まで報告がなかったのが不思議なくらいである。湯湾岳の林道沿いに一ヶ所群生していたが、他では見かけなかった。近くにはイワヒメワラビも生育していたが、イワヒメワラビも奄美大島では決してどこにでもある種類ではない。なお、本種の学名に関してはいろいろな意見があるが、*Hypolepis tenuifolia* にあてるのは疑問がある。さしあたり、確実に同じものに命名された *H. alte-gracillima* にあてておくのが最も無難であろう。

(2) エラブコウモリシダ 沖永良部島産の標本に基いて記載された特異なコウモリシダ類の一種で、その後沖縄本島からも報告されているが、奄美大島でも採集した。西仲間付近の沢沿いの林床に、コウモリシダにまじって数株生育していた。岩槻邦男氏は、本種は雑種的なもので、母種としてはコウモリシダと *Thelypteris* subgen. *Cyclosoriopsis* の種類、例えばケホシダが考えられると述べておられるが、奄美大島のものは、もし雑種ならば、形態や周辺に生育していた種類から推して、コウモリシダとホシダが母種と考えられる。

2. 沖縄本島新産のシダ植物 3 種

(1) イワヒメワラビ 西南日本や台湾には普通に見られるシダで、前項で述べたように奄美大島にも産するが、沖縄や八重山には記録がなかった。与那覇岳頂上付近の尾根近くの林縁に、小群落になって生育していた。

(2) ウライシダ ヒロハノコギリシダに非常によく似ているが、鱗片が幅広く褐色である点で区別できる。従来の文献にはしばしば葉の切れ込みの深さが区別点としてあげられているが、ヒロハノコギリシダでも二回羽状深裂程度でよく胞子のう群をつけているものもあるし、ウライシダでも大きい葉は典型的なヒロハノコギリシダと同程度まで切れ込むから、特徴にはならない。それより葉質や葉面の色、光沢などが、実際に野外で探す時には指標になる。与那覇岳頂上付近の沢沿いの林床に、ヒロハノコギリシダやオキナワコクモウクジャクと混生していた。従来紀伊半島(那智)、屋久島、台湾から知られていた

* 東京教育大学理学部植物学教室 Botanical Institute, Faculty of Science, Tokyo
University of Education, Tokyo.

けであるが、おそらくより広い範囲に分布しているものと思われる。

(3) **ニセシロヤマシダ** 屋久島、徳の島や台湾などに産する本種が沖縄や八重山にも産するのは当然予想される事であったが、与那覇岳中腹の沢沿いの傾斜地に、あまり发育のよいものではなかったが、2株ほど生育しているのを確認した。探せば他の場所でもみつかるものと思われる。ニセコクモウクジャクに似た種類であるが、根茎は斜上または直立し、葉は全体強壯で鱗片が多く、小羽片の基部は広くさび形で著しい柄があるので容易に区別される。コクモウクジャクとは別種と考えるのが妥当であろう。

3. 八重山群島新産のシダ植物6種

(1) **キクモバホラゴケ** ボルネオからサモア諸島まで分布し、北は台湾からとんで屋久島に知られていたが、西表島の山地にはそれほど少ないものではない。標高200—400mの沢沿いの岩上や崖状地に、イヌタマシダなどに混って点在しているが、低地には見られない。この点カンシノブホラゴケやオオカンシノブホラゴケが低地に多く、標高300mくらいになると少なくなるのとは対称的である。屋久島のキクモバホラゴケは、全体に繊細で裂片は狭く、包膜は小さく細長い、西表島のものは強壯で、葉柄は長さ7—18cm、直径1—1.8mm、葉身は卵形—卵状楕円形、長さ11—20cm、幅8—17cmあり、裂片の幅は広く、包膜は大きく杯形、口辺は時にやや広がる。しかし、各地の標本を見ると、両者を区別する事はできない。

(2) **タカサゴキシノオ** 石垣島於茂登岳頂上付近および西表島古見岳頂上付近で、個体数は共に少なかったが採集した。従来奄美大島や沖縄本島の与那覇岳では知られていたが、八重山群島には未記録であった。これで、西南日本から台湾まで分布が連続した事になる。なお、古見岳ではリュウキュウキシノオも同所に生育していた。

(3) **ニセコクモウクジャク** 西南日本には点在し、琉球では徳の島から知られているが、西表島の御座岳から白浜に抜ける間でも採集した。本変種は本来中国大陸南部やインドシナのものであるが、台湾に記録がないのはおもしろい。コクモウクジャクに似ているが、胞子のう群は短く、辺縁寄りにつき、包膜はより深く胞子のう群をつつむから、区別は比較的容易である。

なお、コクモウクジャクは琉球列島には点在しているが、あまり多くない。屋久島産の標本に基いて記載されたオオコクモウクジャクはよく发育した大形のもので、分類群として区別する必要はない。このような型は西表島浦内川カンピラ滝付近でも採集した。

(4) **ナンカイイタチシダ** 西南日本の海岸近くや台湾ではしばしば見かける種類であるが、琉球ではあまり多くなく、八重山からは未記録であった。西表島の仲間川から御座岳に登る道の登り口近くで採集した。

(5) **タイワンアオネカズラ** 屋久島、台湾、中国大陸南部に分布しながら、その間の琉球には知られていなかったが、西表島の御座岳から白浜に抜ける間で、地上5m程の樹幹に着生していたのを採集した。葉長は葉柄を含めて60cmくらいあった。奄美大島のアマミアオネカズラとは根茎上の鱗片が全く異なり、区別に困る事はない。台湾からとんで屋久島の低地に分布しているシダは、他にもヒカゲアマクサシダ、ホソバオオカグマ、フサ

サジランなどがあるが、これらも将来琉球で見つかる可能性が大きい。

(6) **カザリシダ** 台湾ではしばしば樹幹に着生している大株を見かけるが、琉球では極めて稀で、沖縄本島南部と南大東島から記録があるにすぎなかった。西表島古見岳頂上付近で1株、あまり生育状態のよくない株を得たが、八重山からは初めてと思われる。本島南部や南大東島の記録は低地のソテツに着生していたものを得たようであるが、古見岳では標高450m程の湿った林床の枯木についていた。

4. コウヨウザンカズラ

日本シダの会報85号6頁(1967)に、奄美大島にスギランが産する事が報告されているが、この記録のもとになった標本はスギランではなく、コウヨウザンカズラの幼株である。コウヨウザンカズラは早田先生によって台湾島来産の標本に基いて記載された種類で、従来琉球列島を含む日本国内からは知られていなかった。奄美大島産の標本は全長20cm程で、基準標本の茎の下部とよく一致する。ダムに水没した立枯れの木の、水面上4m程の所に着生していたそうである。スギランとは茎が太く、葉がやや幅広くて開出しなない点で容易に区別できる。

コウヨウザンカズラは旧世界の熱帯に広く分布するムカデカズラ *Lycopodium squarrosum* と非常によく似ており、同一と見なす人もいるが、田川先生は葉が幅広く披針形鋭尖頭で、茎の下部の葉は斜上し、ムカデカズラのように反曲しない点で異なると述べておられる。標本が少なく変異がよくわからないので、とりあえず従来通りに扱っておくが、おそらく別種ではないであろう。

1. The following two ferns are new additions to the flora of Isl. Amami-oshima.

(1) **Hypolepis alte-gracillima** HAYATA, Ic. Pl. Formos. 5 : 295, fig. 118 (1915); TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. 14 : 45 (1950), Col. Ill. Jap. Pter. 55, 219 (1959).

Hypolepis bamleriana ROS. sensu H. ITO, Journ. Jap. Bot. 13 : 370 (1937), Bot. Mag. Tokyo 53 : 25 (1939).

Hypolepis tenuifolia BERNH. sensu KURATA in NAMEG. et KURATA, Enum. Jap. Pter. 265 (1961).

Hab. Mt. Yuwan-dake, Isl. Amami-oshima (S. SERIZAWA no. 11632, April 1970, TUE).

(2) **Thelypteris insularis** (K. IWATS.) K. IWATS., Mem. Col. Sci. Univ. Kyoto ser. B 31 : 195 (1965); HATUSIMA, Fl. Ryukyus 182 (1971).

Abacopteris insularis K. IWATS., Acta Phytotax. Geobot. 18 : 6 (1959).

Hab. Near Nishinakama, Isl. Amami-oshima (S. SERIZAWA no. 11444, April 1970, TUE).

2. The following three ferns are new additions to the flora of Isl. Okinawa.

(1) **Hypolepis punctata** (THUNB.) METT. ex KUHN, Fil. Afr. 120 (1868);

H. ITO, Bot. Mag. Tokyo **53** : 25 (1939) ; TAGAWA, Col. Ill. Jap. Pter. **55**, 219, fig. 190 (1959) ; HATUSIMA, Fl. Ryukyus 160 (1971) .

Polypodium punctatum THUNB., Fl. Jap. 337 (1784) .

Hab. Mt. Yonaha-dake, Isl. Okinawa (S. SERIZAWA no. 13534, March 1971, TUE) .

(2) **Diplazium dilatatum** BL. var. **uraiense** (ROS.) KURATA in NAMEG. et KURATA, Enum. Jap. Pter. 340 (1961) .

Diplazium uraiense ROS., Hedwigia **56** : 336 (1915) ; TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. **6** : 163 (1937) .

Hab. Mt. Yonaha-dake, Isl. Okinawa (S. SERIZAWA no. 13582, March 1971, TUE) .

(3) **Diplazium taiwanense** TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. **5** : 259 (1936), Col. Ill. Jap. Pter. 138, 203, fig. 306 (1959) ; H. ITO, Bot. Mag. Tokyo **52** : 649 (1938) ; HATUSIMA, Fl. Ryukus 189 (1971) .

Diplazium virescens var. *taiwanense* KURATA in NAMEG. et KURATA, Enum. Jap. Pter. 340 (1961) .

Hab. Mt. Yonaha-dake, Isl. Okinawa (S. SERIZAWA no. 14900, Aug. 1971, TUE) .

3. The following six ferns are new additions to the flora of the Yaeyama Islands.

(1) **Callistopteris apiifolia** (PR.) COPEL., Phil. Journ. Sci. **67** : 65 (1938) ; K. IWATS., Acta Phytotax. Geobot. **17** : 166 (1958) ; TAGAWA, Col. Ill. Jap. Pter. 46, 188, fig. 74 (1959) .

Trichomanes apiifolium PR., Hymen. 108 (1843) ; COPEL., Phil. Journ. Sci. **51** : 227, pl. 42 fig. 1 (1933) ; TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. **6** : 89 (1937) .

Trichomanes bauerianum ENDL. sensu OGATA, Journ. Jap. Bot. **11** : 36 (1935), Ic. Fil. Jap. **6**, pl. 294 (1935) .

Hab. Mt. Goza-dake, Isl. Iriomote (S. SERIZAWA no. 13237, March 1971, TUE) ; Between Mt. Goza-dake and Hateruma-mori (S. SERIZAWA no. 13276, March 1971, TUE) ; The upper stream of the River Urauchi-gawa (S. SERIZAWA no. 13393, March 1971, KYO, TUE ; no. 14585, Aug. 1971, TUE) ; Near Urauchi-gawa Daiichi-yamagoya (S. SERIZAWA no. 14600, Aug. 1971, TUE) .

(2) **Plagiogyria adnata** (BL.) BEDD., Ferns Brit. Ind. 51 (1865) ; NAKAI, Bot. Mag. Tokyo **42** : 207 (1928) ; H. ITO, Bot. Mag. Tokyo **52** : 586 (1938) ; TAGAWA, Col. Ill. Jap. Pter. 68, 239, fig. 125 (1959) ; HATUSIMA, Fl. Ryukyus 143 (1971) .

Plagiogyria rankanensis HAYATA, Ic. Pl. Formos. **8** : 151, fig. 80 (1919) ;

NAKAIKE, Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo 14 : 258 (1971).

Hab. Mt. Omoto-dake, Isl. Ishigaki (S. SERIZAWA no. 13435, March 1971, TUE); Mt. Komi-dake, Isl. Iriomote (S. SERIZAWA no. 14707, Aug. 1971, TUE).

(3) **Diplazium virescens** KUNZE, Bot. Zeit. 1848 : 537 (1848).

Diplazium virescens var. *sugimotoi* KURATA, Journ. Geobot. 7 : 77 (1958); TAGAWA, Col. Ill. Jap. Pter. 203 (1959).

var. **conterminum** (CHRIST) KURATA, Journ. Geobot. 7 : 77 (1958); HATUSIMA, Fl. Ryukyus 189 (1971).

Diplazium conterminum CHRIST, Journ. de Bot. 19 : 47 (1905).

Hab. Between Mt. Goza-dake and Shirahama, Isl. Iriomote (S. SERIZAWA no. 13290, March 1971, TUE).

(4) **Dryopteris varia** (L.) O. KUNTZE, Rev. Gen. Pl. 2 : 814 (1891); TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. 8 : 25 (1939), Col. Ill. Jap. Pter. 100, 214, fig. 203 (1959); HATUSIMA, Fl. Ryukyus 175 (1971).

Dryopteris yabei HAYATA, Mat. Fl. Formos. 424 (1911); H. ITO, Bot. Mag. Tokyo 52 : 588 (1938), in NAKAI et HONDA, Nova Fl. Jap. 4 : 58 (1939).

Hab. Near Nakama-gawa Funatsukiba, Isl. Iriomote (S. SERIZAWA no. 14653, Aug. 1971, TUE).

(5) **Polypodium formosanum** BAKER, Journ. Bot. 1885 : 105 (1885); OGATA, Ic. Fil. Jap. 3, pl. 135 (1930); TAGAWA, Col. Ill. Jap. Pter. 156, 241, fig. 355 (1959).

Hab. Between Mt. Goza-dake and Shirahama, Isl. Iriomote (S. SERIZAWA no. 13283, March 1971, TNS).

(6) **Pseudodrynaria coronans** (WALL. ex METT.) CHING, Sunyatsenia 6 : 10 (1941).

Aglomorpha coronans COPEL., Univ. Calif. Publ. Bot. 16 : 117 (1929); TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. 8 : 234 (1939); HATUSIMA, Fl. Ryukyus 202 (1971).

Hab. Mt. Komi-dake, Isl. Iriomote (S. SERIZAWA no. 14709, Aug. 1971, TUE).

4. **Lycopodium cunninghamioides** HAYATA, Ic. Pl. Formos. 4 : 131 (1914); TAGAWA, Acta Phytotax. Geobot. 17 : 4 (1957).

Lycopodium squarrosum FORST. : DE VOL, Taiwania 11 : 52 (1965), p. p.

Hab. Sumiyogawa-dam, Isl. Amami-oshima (S. DAIGOBO s. n., April 1966, TUE).

Distr. Ryukyu (Isl. Amami-oshima, a new record) and Taiwan.